

福島教区報

天理教福島教務支庁

〒960-8022 福島市新浜町7番26号
TEL 024-534-2251 / FAX 024-534-2404

教会数 123ヶ所
布教所数 110ヶ所
長ふほく数 3378人
(R180.0末現在)

謹賀新年

陽気ぐらし世界へ向かって

新たな年が暮開け

謹んで立教百八十二年の新春のご祝辞を申し上げます。

昨年は、縦の教会系統の活動と共に、福島教区の横の地域活動の上にも並々ならぬお力添えを賜りました。とりわけ、長年使用させていただいた教職舎(婦人会棟・青年会棟など)の解体ひのきしんの上に、大勢の方々がご参集下さり、一人ひとりの真実のお力添えで取り壊しさせていただくことができました。

昨年一年、時旬の御用の上にご尽力ご丹精を賜りましたことに、改めて厚く御礼を申し上げます。誠に有難うございました。

本年は元号が「平成」から「新たな元号」にかわり新時代を迎えます。

教区管内の上でも、人事変更の時期となり、4月1日からは新人事で教区活動がスタートいたします。また、『天理時報』の普及推進活動が昨年からの積極的に始まり、福島教区でも今年4月2日に教区祭に合わせて「天理時報普及推進大会」を開催することになっていま

す。その大会に向けて、各教会とも、せめて『天理時報』を1部増加しようという道友社の社友を中心に声をかけ合つて、今、進めさせていただいている最中であります。

婦人会の上からは、来年4月19日に「婦人会創立一〇周年記念総会」を迎えるに当り、今年5月から9月にかけて各地域で「婦人会員決起の集い」が開催される年でもあります。

さらに、教会本部の親心と教区管内の皆様方の真実で進めさせている福島教務支庁の新しい教職舎が完成する喜びの年でもあります。

本年一年も、教区、各支部、各部各会それぞれの活動の上に、ご尽力ご丹精を賜りますようお願い申し上げます、新年の挨拶いたします。何卒宜しくお願い致します。

教区長 平澤勇一

福島教区本年前半の主な行事予定

- 3月28日 春の学生おちびがえり
- 4月29日 全教一斉ひのきしんデー
- 6月3日 婦人会総会
- 7月14日 基礎講座福島テルサで開催
- 4月2日(火) 午前10時より

福島教区 教区祭執行

天理時報普及推進大会開催

教務支庁教職舎ふしん地鎮祭執行

10月2日、教区祭典終了後、教務支庁教職舎ふしんの地鎮祭が雅楽が鳴り響く中、厳かに執行された。

9月26日、本部神殿で「お願いごとめ」をつとめ、お運びによって理のお許しを戴いて、この吉日を迎えた。

まず、教区役職者、工事関係者、建築予定地が祓い



清められた後、平澤勇一・教区長が玉串奉獻、祭文を奏上し、事の由を神様に申し上げた。その後、教区の役職者と工事関係者らが玉串をあげ、最後に、教区ふしん担当・荒井忠弘主事と工事関係者がそれぞれ鍬入れを行い、工事の無事を祈った。



工事は旧神殿廊下新築及び事務所一部改修から進められ、12月には完了した。続いて、トイレの改修工事へと進められ、この1月には男女別の新しいトイレが既存の場所に完成する予定。

一方、瓦葺き平屋建て教職舎の新築工事の方は、駐車場の塀や隣接との境界線の問題が生じ、ご本部との相談と建築確認申請の関係により、予定より多少遅れ、竣工も3か月ほど遅れる見込みとなりました。

工事期間中、教区管内の皆様方には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご了承の程をお願い致します。

教務支庁教職舎ふしんの様子（1月2日撮影）



旧神殿廊下新築（玄関からの様子）

旧神殿廊下新築（新教職舎へ繋がります）

青年会

「天理教青年会創立100周年記念総会」に

約3万人が参集

10月28日(日)、本部中庭で「天理教青年会創立100周年記念総会」が盛大に開催された。

青年会では、100周年を迎えるこの旬を「白紙に戻り一より始める旬」として創立の原点に立ち返り、一人ひとりが布教と求道に励んできた。そして、記念総会を例年の27日開催から変えて日曜日にするとし、一人でも多くの会員が寄り集

い、100周年活動の集大成としてするとしており、会員をはじめ約3万人が参集した。

「自主性」「楽しむ」「世界だすけ」について話された。なお、前日には「100フェス」と称して、様々なイベントが催され、若い熱気がおちば周辺に満ち溢れた。

委員長のコメント

福島教区青年会でも、「一人でも多くの動員を」との青年会長様の思いを受けさせていただき、27日と29日の日程で車を出し、3名の参加者で帰らせていただきました。道中も楽しく賑やかに過ごし、前夜祭にも間に合うことが出来ました。

お陰様で、微力ながらも思いにお応え出来たことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました。

総会の席上、中山大亮・青年会長は、これまでの活動を労ったうえで、新たなスタートを切るうえで大切

がとうございました。



トイレ改修 (外観)



事務所改修 (奥に広がりました)



トイレ改修 (内装)



事務所改修 (応接セット)

厚生部

厚生部研修会

「TF A式イライラしない子育て講座」開催

10月2日、厚生部（齊藤容久 部長）では、教

務支庁で研修会を開催し、教区役職者をはじめ、31名が参加した。

今回は、「家族のおさまり」実現の一助にしてほしいとの思いから、山崎栄慈先生（渕和分教会長・里親連盟委員）をお招きし、「T

TF A式 イライラしない子育て講座」と題してお話しいただいた。

TF A（天理教里親子育てアプローチ）とは、天理教里親連盟が中心となってお道独自の養育法をまとめたもので、里子だけでなく一般の子育てにも使えるというもの。今回は、時間の制限もあり、その一部を紹介する形でお話いただいた。先生は、里親としての経験も交えながら、親として子供に接する際の言葉や態度、そしてその時の子供の心理を軸に、日々の具体例をあげて分かりやすく教えていただいた。

受講者からは、「すごく勉強になりました」との感想が寄せられた。（N・S）

道の教職員の集い

「東北ブロック大会」に1名参加

10月20日（土）のムードでした。21日（日）、「道の教職員の集い」の教職員の集い

東北ブロック大会」が山形市の「ヒルズサンピア山形」に於いて開催されました。山形教区担当で会員21名と本部講師・村山真一先生（道の教職員の集い運営委員長／天理小学校）、教区講師・會田昌伸氏を加えて計23名の盛会でした。福島教区（古川善一代表世話人）からは1名の参加でした。

1日目は村山先生の講話。路傍講演のお話や、「育てる工夫と育てる努力」というテーマで活動している集いの今後についてお話しされた。続いて懇親会。山形市内の夜景と紅葉の蔵王山麓がすばらしい添え花の山形大会でした。次回は秋田教区担当です。

形楽奏の雅楽による歓迎の演奏で幕開け、和気あいあ

（H・I）



学生担当委員会

「学生層育成者講習会」開催

学生担当委員 会(杉澤元和委員(杉澤元委員長)では、11月2日(金)、福島教務支庁を会場に、「学生層育成者講習会」を開催。教区役職者をはじめ、25名が参加した。



当日は、清水慶政先生(学生担当委員会委員・兵神大教会長)が講話。お道を通



が今後のつとめ方について、清水委員を囲んでねらいを持った。(M・S)



なお前日には、教区委員が今後のつとめ方について、清水委員を囲んでねらいを持った。(M・S)

基礎講座

「天理教基礎講座」(いわき会場)開催

11月18日(日)、いわきらトブを会場に、「天理教基礎講座」が開催され、未信者2名を含む32名が受講した。今回は、杉澤元和先生(若會分教会長)が講師を勤められ、ビデオと講話を通して、基礎教

理を分かりやすくお説き下さった。また、昨年からの、教区会場からスタッフを派遣して近隣教区でも開催するといふ動きが出ており、長野、千葉、山口の各教区でも基礎講座が開催された。福島教区でも会津支部で初開催され、今年は耶麻支部(喜多方市)と安達支部(二本松市)で初めて開催することとなっている。身近なところで開催されるので、布教の手立てとして是非ご利用いただきたい。(K・K)

今回で27回を数えた基礎講座(福島会場)。累計で942名の方が受講され、1回平均で35名弱となっている。また未信者の方も94名となっており、受講者の1割の方が未信者という統計となっている。

婦人会

「教区母親講座・婦人の集い」開催

去る11月30日(金)、福島教区婦人会(平澤栄美主任)では、「教区母親講座・婦人の集い」を福島

教務支庁で開催し、39名が参加した。まず、山崎栄慈先生(渕和分教会長・里親連盟委員)を講師に「母親講座」が行われた。テーマは「TFA式



イライラしない子育て」。子育てに悩んでいる親御さんが、イライラして子どもを怒鳴ったり、叩いたりせず、子どもと上手にコミュニケーションをとりながら、効果的にしつけを行うための、役立つ「子育てのコツ」を教えていただいた。

今回はその中の、「子どもと上手にコミュニケーションをとるコツ」と、「子どもを上手にほめるコツ」を話された。子供をしつけるのではなく、根気よく諭したり話したりして、コミュニケーションをとるといふことを実際に演習を交えながら学んだ。



また、「人をほめることは自分をほめることになる。」「『当たり前』を喜び、感謝する心・陽気ぐらしの心を育むには『愛着関係』をしつかり形成することが大事である。」と話され、最後に、「子育ては未来を作る尊い親の務めであり、子育てには、愛情・情熱・忍耐が必須で、+αのコツが必要」とされた。

その後、参加者は、寒い中でしたが、勇んで教務支庁周辺で神名流しを行い、昼食をとりながら交流を深めた。今回は、若い方が多く参加して下さり、大変和やかに開催することができた。

(S・A)



いわき支部

「ようぼく成人講座」開催

いわき支部(木島勇道支部長)では、10月14日(日)、磐城平教会において、「ようぼく成人講座」を開催し、19名が参加しました。講師は、本部講師の近藤直光先生(湖大成分教会長)でした。

今回は、私達が日頃遣っている「ことばづかい」に



焦点を当て、ひながたから教えに基づく理想的な言葉遣いを学びました。言葉の遣い方の善し悪しによって、受け取る側の印象が大きく変わってくることや、相手に自分の気持ちを伝えることの難しさを、班でのおしゃべりタイムや講師のお話、テキストなどで、改めて確認させていただきました。また先生ご自身が身上をご守護いただいた話などをお聞かせいただいたり、共々に楽しく学ぶことが出来ました。

せっかく準備した講座ですが、参加者が少なかつたのはとても残念です。次回はより多くの方々に受講していただけるよう、支部として心を尽くしたいと思えます。

(M・K)

相双支部

「ようぼく成人講座」開催

相双支部(目黒淳支部長)では、10月20日(日)、福相分教会において木島勇道先生(君福分教会長)を迎え、震災以降、相双支部として初めての「ようぼく成人講座」を開催、42名が参加した。

「信仰の喜びと実践」と題し、優しい口調と分かりやすい話で、先生自身の体験と実際に起こった出来事が紹介され、その時々的心境と親神様のご守護について詳しく語られ、参加者は



真剣に話に聞き入った。「ようぼく」として、また信仰を進める者として、心の置きどころや思索のしどころなど、大変心に響くお話であった。「勉強になり、有意義な講座内容だった。」との感想もあった。

相双支部管内では現在、4箇所の教会が生活している。震災において失った教勢を元に戻すのは容易ではない。復興とは言うものの、険しい道のである。しかし、「千里の道も一歩から」とのことわざがあるように、現在の教会活動の炎を絶やすことなく、僅かでも、少しでも燃やし続け、衰えないよう、今後も「出来ることはやるぞ！」の精神で活動を進めていきたい。

(A・M)



田村支部

「ようぼく成人講座」開催

田村支部（平澤八重支部長）では、11月18日（日）、三春分教会において柏村和義先生（須賀川分教会長）を迎え、「さあ、おつとめ」をテーマに「ようぼく成人講座」を開催、17名が参加した。

まず最初に、ようぼくとして選ばれた我々であるということを常に心に持つておかなければならないとし、「おつとめを英語で訳すとサービスという。神様

に対してはおつとめ、人様に対してはひのきしん、自分に対してはたんのうとなる。これらは信仰の角目である。」と話された。そして、おつとめをつとめるにあたっては、勇み心、合わせる心、陽気な心、人をたすける心の4つが大切であるとされた。また、「生物は本能的に自己中心であるから、他の人のことを思うように努める。それがたんのうになる」と話され、陽気ぐらしは生きる喜びを味わうことであり、陽気ぐらしの為にたんのうは大事であるとされた。

先生ご自身の体験もお聞かせいただき、とても分かりやすく、改めておつとめの大切さを感じました。

(S・A)

「天理教基礎講座」開講予定

- ・ 7 月 14 日（日） 福島テルサ
 - ・ 9 月 15 日（日）
喜多方プラザ文化センター
 - ・ 11 月 17 日（日）
二本松市市民交流センター
- いずれも 13 時 30 分開講。
講師は未定

春の学生おちばがえり

3月26日（火）～29日（金）

26日 8時 教務支庁発—おちば着
27日 神殿案内、観光（USJ）、前夜祭
28日 式典、直属アワー
29日 20時 天理発
参加費 7時 教務支庁着
泊津 2万6千円
津 宿 泊 津 舘 所

「天理時報 普及推進大会」

日時：立教 182 年（平成 31 年）4 月 2 日 教区祭祭典後
講師：本部員・松村登美和先生（本部布教部次長）

『天理時報』を 1 教会 1 部の増加の上にお力添えをお願いします。